

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年6月11日

【四半期会計期間】 第66期第2四半期(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

【会社名】 正栄食品工業株式会社

【英訳名】 SHOEI FOODS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 本多市郎

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

【電話番号】 (03) 3253 1211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 藤雄博周

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

【電話番号】 (03) 3253 1211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 藤雄博周

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第2四半期 連 結累計期間	第66期 第2四半期 連 結累計期間	第65期
会計期間		自 平成23年 11月1日 至 平成24年 4月30日	自 平成24年 11月1日 至 平成25年 4月30日	自 平成23年 11月1日 至 平成24年 10月31日
売上高	(千円)	42,714,372	45,193,014	81,334,386
経常利益	(千円)	1,980,565	2,468,457	2,796,975
四半期(当期)純利益	(千円)	1,218,987	1,681,544	1,714,777
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,628,324	3,163,824	1,922,788
純資産額	(千円)	24,114,310	27,275,619	24,286,922
総資産額	(千円)	52,282,787	54,325,905	49,712,526
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	62.67	86.45	88.16
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	44.9	49.0	47.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	988,154	347,945	1,233,108
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,399,222	2,256,370	2,425,478
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	2,277,989	14,307	2,469,400
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	5,265,486	3,907,009	6,461,789

回次		第65期 第2四半期 連 結会計期間	第66期 第2四半期 連 結会計期間
会計期間		自 平成24年 2月1日 至 平成24年 4月30日	自 平成25年 2月1日 至 平成25年 4月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	34.93	49.32

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和や各種経済対策への期待から、円高水準の是正や株価の回復が急激に進み、景況感に明るさが見え始めたものの、欧州や中国経済の減速懸念など先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、依然として低価格化や消費低迷が長期化する中で、急激に円安が進行し、輸入食材の仕入コストが上昇する等、当社の事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力のレーズン、クルミ等の乾果実類を中心に国内外の売上が堅調に推移したことから、前年同四半期比5.8%増の451億93百万円となりました。

利益面では、国内の食品原料事業での利益率が低下しましたが、中国及び米国の海外事業で採算面が向上したことから、営業利益は前年同四半期比16.7%増の21億32百万円、経常利益は前年同四半期比24.6%増の24億68百万円となり、四半期純利益は、前年同四半期比37.9%増の16億81百万円となりました。

当社グループの品目別の業績は次のとおりであります。

乳製品・油脂類につきましては、国内粉乳製品やバター、油脂等が前年実績を下回りましたが、輸入調製品が堅調に推移し、品目別売上高は、125億91百万円（前年同四半期比107.3%）となりました。

製菓原材料類につきましては、穀粉類等が前年実績を下回りましたが、マロンペーストなどの菓製品や製菓用チョコレートが堅調に推移したことから、品目別売上高は、89億76百万円（前年同四半期比101.3%）となりました。

乾果実・缶詰類につきましては、黄桃等のフルーツ缶詰や業務用食材が前年実績を下回りましたが、フルーツ加工品やデザート食材が前年実績を上回りました。また、主力のレーズン等のドライフルーツ、クルミ、アーモンド、松の実、パンプキンシード等のナッツ類が堅調に推移したことから、品目別売上高は、161億39百万円（前年同四半期比111.4%）となりました。

菓子・リテール商品類につきましては、リテール商品類が、健康志向もあり、プルーン・ナッツ類の小袋品が好調に推移し前年実績を上回りました。チョコレート菓子やクッキー・ビスケット等が、販売価格競争の激しさから、前年実績を下回り、品目別売上高は、72億59百万円（前年同四半期比98.2%）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	米国	中国	計	調整額	四半期連結 損益計算 書 計上額 (注)
<b>売上高</b>						
平成25年10月期第2四半期	40,880	9,444	4,279	54,604	9,411	45,193
平成24年10月期第2四半期	38,491	7,971	2,782	49,245	6,530	42,714
増減額	2,389	1,473	1,496	5,359	2,880	2,478
増減率	6.2%	18.5%	53.8%	10.9%		5.8%
<b>セグメント利益</b>						
平成25年10月期第2四半期	2,034	265	242	2,542	409	2,132
平成24年10月期第2四半期	2,038	197	55	2,291	463	1,828
増減額	4	68	187	250	53	304
増減率	0.2%	34.6%	339.0%	10.9%		16.7%

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 1 日本

国内の売上高は、輸入乳製品、レーズン、クルミ、アーモンド加工品、マロンペーストなどが堅調に推移したことから、前年同四半期比6.2%増の408億80百万円となりました。セグメント利益は、農産物価格の高騰に加え、急激な円安の影響もあり、輸入コストが上昇したことから、売上総利益率が低下し、前年同四半期比0.2%減の20億34百万円となりました。

### 2 米国

当地域の売上高は、クルミ事業の拡大に伴う米国内および欧州、アジア向けの売上増や、アーモンド等のその他ナッツ類や乾果実類の日本向け輸出が堅調であったことから、前年同四半期比18.5%増の94億44百万円となりました。セグメント利益は、クルミ事業における採算面が向上し、前年同四半期比34.6%増の2億65百万円となりました。

### 3 中国

当地域の売上高は、ナッツ・シード類の欧米向け輸出が堅調に推移したことや、中国国内での製菓、製パン向けの販売が増加し、前年同四半期比53.8%増の42億79百万円となりました。セグメント利益は、賃金上昇等による労務費負担が増加しましたが、生産稼働率の改善や国際相場の価格上昇等から、前年同四半期比339.0%増の2億42百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ46億13百万円増加し、543億25百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が25億54百万円減少したものの、「受取手形及び売掛金」が19億15百万円、「商品及び製品」が18億55百万円、「仕掛品」が5億79百万円、「原材料及び貯蔵品」が3億58百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ22億73百万円増加し、381億9百万円となりました。固定資産は、「建物及び構築物」が8億40百万円、「機械装置及び運搬具」が5億25百万円、「建設仮勘定」が4億99百万円、「投資有価証券」が3億89百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ23億40百万円増加し、162億16百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億24百万円増加し、270億50百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「短期借入金」が1億13百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が8億92百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が2億円、「未払法人税等」が1億28百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ10億84百万円増加し、245億38百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」が3億89百万円、「繰延税金負債」が1億43百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ5億40百万円増加し、25億11百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億88百万円増加し、272億75百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が15億6百万円、「その他有価証券評価差額金」が2億41百万円、「繰延ヘッジ損益」が2億94百万円、「為替換算調整勘定」が9億28百万円それぞれ増加したことによるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ25億54百万円減少（前年同四半期は1億97百万円の増加）し、39億7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、3億47百万円（前年同四半期の使用した資金は9億88百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益24億54百万円、減価償却費8億1百万円、仕入債務の増加6億26百万円、売上債権の増加16億39百万円、たな卸資産の増加20億89百万円、法人税等の支払額5億82百万円等によるものです。

前年同四半期比で増収となりました要因は、前第2四半期連結累計期間の末日が金融機関の休日であったため、仕入債務が大幅に減少したものの、たな卸資産の減少と製品原材料の買付に伴う前払代金「その他の流動資産（前渡金）」が製品原材料の受入により大幅に減少したことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、22億56百万円（前年同四半期の使用した資金は13億99百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、有形固定資産の取得による支出の増加や、本社ビル建替えに伴う請負代金の支払いによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、14百万円（前年同四半期の得られた資金は22億77百万円）となりました。これは主に、配当金1億75百万円の支払いと借入金2億20百万円の増加によるものです。

前年同四半期比で減収となりました要因は、借入金の減少によるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,585,000
計	48,585,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年4月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年6月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,159,914	21,159,914	東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は100 株であります。
計	21,159,914	21,159,914		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年2月1日から 平成25年4月30日		21,159,914		3,379,736		3,042,770

(6) 【大株主の状況】

平成25年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
正栄プラザ株式会社	東京都大田区中央 1 9 17	3,705	17.5
正栄食品工業株式会社	東京都中央区日本橋茅場町 1 8 1	1,708	8.1
本多興産有限会社	東京都台東区秋葉原 5 7	1,322	6.2
正栄食品取引先持株会	東京都中央区日本橋茅場町 1 8 1	658	3.1
本多秀光	東京都文京区	618	2.9
正栄食品グループ 従業員持株会	東京都中央区日本橋茅場町 1 8 1	549	2.6
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行 株式会社)	東京都千代田区内幸町 1 1 5 (東京都中央区晴海 1 8 12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟)	545	2.6
本多市郎	東京都大田区	483	2.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 7 1	456	2.2
株式会社明治	東京都江東区新砂 1 2 1 0	428	2.0
計		10,477	49.5



## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,708,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,417,300	194,173	
単元未満株式	普通株式 34,114		
発行済株式総数	21,159,914		
総株主の議決権		194,173	

## 【自己株式等】

平成25年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 正栄食品工業株式会社	東京都中央区日本橋茅場町 1 - 8 - 1	1,708,500		1,708,500	8.1
計		1,708,500		1,708,500	8.1

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年2月1日から平成25年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,461,789	3,907,009
受取手形及び売掛金	15,442,388	17,358,113
商品及び製品	9,405,207	11,260,639
仕掛品	533,330	1,112,426
原材料及び貯蔵品	2,444,542	2,803,055
繰延税金資産	399,078	223,629
その他	1,168,428	1,454,920
貸倒引当金	18,903	10,665
流動資産合計	35,835,861	38,109,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,364,401	5,204,680
機械装置及び運搬具（純額）	3,314,010	3,839,995
工具、器具及び備品（純額）	111,081	142,196
土地	2,234,466	2,310,433
リース資産（純額）	167,121	143,622
建設仮勘定	1,250,700	1,750,687
その他（純額）	64,797	77,286
有形固定資産合計	11,506,580	13,468,903
無形固定資産		
ソフトウェア	31,874	24,005
その他	122,900	146,893
無形固定資産合計	154,774	170,898
投資その他の資産		
投資有価証券	1,488,648	1,878,514
繰延税金資産	51,675	17,220
その他	733,047	738,231
貸倒引当金	58,062	56,993
投資その他の資産合計	2,215,309	2,576,972
固定資産合計	13,876,664	16,216,775
資産合計	49,712,526	54,325,905

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,009,653	9,901,723
短期借入金	10,877,910	10,763,960
1年内返済予定の長期借入金	221,400	421,400
未払法人税等	625,215	753,628
賞与引当金	645,350	567,750
役員賞与引当金	35,100	24,750
その他	2,039,370	2,105,073
流動負債合計	23,453,999	24,538,286
固定負債		
長期借入金	1,270,450	1,659,750
退職給付引当金	285,574	286,896
役員退職慰労引当金	181,344	195,948
繰延税金負債	26,631	170,065
その他	207,603	199,339
固定負債合計	1,971,604	2,511,999
負債合計	25,425,604	27,050,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	19,294,358	20,800,839
自己株式	1,300,138	1,300,202
株主資本合計	24,416,726	25,923,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,766	425,098
繰延ヘッジ損益	10,472	284,253
為替換算調整勘定	941,777	13,597
その他の包括利益累計額合計	768,482	695,754
少数株主持分	638,678	656,721
純資産合計	24,286,922	27,275,619
負債純資産合計	49,712,526	54,325,905

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	42,714,372	45,193,014
売上原価	36,490,086	38,544,110
売上総利益	6,224,285	6,648,903
販売費及び一般管理費	4,396,260	4,516,157
営業利益	1,828,025	2,132,746
営業外収益		
受取利息	6,739	2,456
受取配当金	12,729	11,828
為替差益	87,803	300,493
受取保険金	16,098	9,311
持分法による投資利益	13,051	17,981
受取補償金	57,775	-
その他	79,868	71,034
営業外収益合計	274,066	413,107
営業外費用		
支払利息	58,888	61,795
シンジケートローン手数料	21,000	-
支払補償費	33,811	-
その他	7,827	15,600
営業外費用合計	121,526	77,396
経常利益	1,980,565	2,468,457
特別利益		
固定資産売却益	9,308	172
負ののれん発生益	33,083	-
特別利益合計	42,392	172
特別損失		
固定資産除却損	58,684	14,017
その他	3,216	362
特別損失合計	61,901	14,379
税金等調整前四半期純利益	1,961,055	2,454,249
法人税、住民税及び事業税	648,224	725,384
法人税等調整額	87,550	37,955
法人税等合計	735,774	763,340
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225,280	1,690,909
少数株主利益	6,293	9,365
四半期純利益	1,218,987	1,681,544

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225,280	1,690,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,214	250,009
繰延ヘッジ損益	59,406	294,726
為替換算調整勘定	283,423	928,179
その他の包括利益合計	403,044	1,472,915
四半期包括利益	1,628,324	3,163,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,620,733	3,145,781
少数株主に係る四半期包括利益	7,591	18,042

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,961,055	2,454,249
減価償却費	740,886	801,213
支払利息	58,888	61,795
為替差損益(は益)	90,904	118,823
引当金の増減額(は減少)	128,117	80,726
売上債権の増減額(は増加)	2,356,033	1,639,894
たな卸資産の増減額(は増加)	2,817,844	2,089,262
仕入債務の増減額(は減少)	3,154,124	626,700
その他の流動資産の増減額(は増加)	948,805	479,883
その他	221,557	232,338
小計	648,307	262,798
利息及び配当金の受取額	49,952	33,136
利息の支払額	57,991	61,078
法人税等の支払額	331,807	582,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	988,154	347,945
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,368,091	2,246,017
有形固定資産の売却による収入	10,059	3,352
投資有価証券の取得による支出	20,855	5,931
その他	20,334	7,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,399,222	2,256,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,534,656	369,218
長期借入金の返済による支出	57,100	110,700
長期借入れによる収入	1,000,000	700,000
自己株式の取得による支出	131	64
自己株式の売却による収入	42	-
リース債務の返済による支出	24,410	30,647
配当金の支払額	175,066	175,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,277,989	14,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	187,470	35,229
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	78,083	2,554,779
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	119,820	-
現金及び現金同等物の期首残高	5,067,582	6,461,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,265,486	3,907,009

【会計方針の変更等】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
従業員給与手当	1,018,423 千円	1,090,331 千円
荷造運送費	1,172,329	1,156,743
退職給付費用	61,339	59,063
賞与引当金繰入額	278,578	296,956
役員賞与引当金繰入額	20,550	19,950
役員退職慰労引当金繰入額	15,371	14,604
倉敷料	379,040	384,655

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
現金及び預金	5,265,486 千円	3,907,009 千円
現金及び現金同等物	5,265,486	3,907,009



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月30日 定時株主総会	普通株式	175,066	9	平成23年10月31日	平成24年1月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月11日 取締役会	普通株式	116,710	6	平成24年4月30日	平成24年7月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月30日 定時株主総会	普通株式	175,062	9	平成24年10月31日	平成25年1月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月10日 取締役会	普通株式	116,708	6	平成25年4月30日	平成25年7月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,058,150	3,347,939	1,308,282	42,714,372		42,714,372
セグメント間の 内部売上高又は振替高	433,048	4,623,600	1,474,323	6,530,972	6,530,972	
計	38,491,198	7,971,539	2,782,605	49,245,344	6,530,972	42,714,372
セグメント利益	2,038,977	197,277	55,254	2,291,509	463,484	1,828,025

(注) 1. セグメント利益の調整額 463,484千円には、セグメント間消去 67,206千円、全社費用 396,277千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、連結子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益33,083千円を、当第2四半期連結累計期間に計上しております。なお、報告セグメントのセグメント利益には、負ののれん発生益は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,383,846	3,114,217	1,694,950	45,193,014		45,193,014
セグメント間の 内部売上高又は振替高	497,016	6,330,718	2,584,062	9,411,796	9,411,796	
計	40,880,862	9,444,935	4,279,012	54,604,811	9,411,796	45,193,014
セグメント利益	2,034,235	265,576	242,582	2,542,395	409,648	2,132,746

(注) 1. セグメント利益の調整額 409,648千円には、セグメント間消去 23,366千円、全社費用 386,281千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
1株当たり四半期純利益	62.67円	86.45円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,218,987	1,681,544
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,218,987	1,681,544
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,451	19,451

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第66期(平成24年11月1日より平成25年10月31日まで)の中間配当については、平成25年6月10日開催の取締役会において、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額 116,708千円
- (2) 1株当たりの中間配当金 6円
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年7月10日

(注) 平成25年4月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 6月10日

正栄食品工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平野 満

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている正栄食品工業株式会社の平成24年11月1日から平成25年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年2月1日から平成25年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、正栄食品工業株式会社及び連結子会社の平成25年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。